

令和4年度牧之原市当初予算の概要について

1 当初予算の総額

(単位：千円、%)

| 会 計 名 | 令和4年度 予 算 額 | 令和3年度 予 算 額 | 前年度比較 | | | |
|------------------|----------------|----------------|-----------|-----------|---------|------|
| | | | 増減額 | 伸率 | | |
| 一 般 会 計 | 20,840,000 | 19,280,000 | 1,560,000 | 8.1 | | |
| 特 別 会 計 | 10,173,237 | 9,990,236 | 183,001 | 1.8 | | |
| 国民健康保険 特別会計 | 5,067,621 | 5,022,018 | 45,603 | 0.9 | | |
| 後期高齢者医療 特別会計 | 562,466 | 517,780 | 44,686 | 8.6 | | |
| 介護保険特別会計 | 4,479,506 | 4,437,840 | 41,666 | 0.9 | | |
| 土地取得特別会計 | 52,117 | 143 | 51,974 | 36,345.5 | | |
| 農業集落排水事業 特別会計 | 11,527 | 12,455 | △928 | △7.5 | | |
| 小 計 | 31,013,237 | 29,270,236 | 1,743,001 | 6.0 | | |
| 水道事業 会 計 | 収益的 | 収入 | 1,033,325 | 1,034,779 | △1,454 | △0.1 |
| | | 支出 | 1,006,670 | 1,005,980 | 690 | 0.1 |
| | 資本的 | 収入 | 126,190 | 137,096 | △10,906 | △8.0 |
| | | 支出 | 416,578 | 438,547 | △21,969 | △5.0 |
| 合 計 | 32,436,485 | 30,714,763 | 1,721,722 | 5.6 | | |

2 当初予算の概要

(1) 総括

ア 一般会計

- ・ 令和4年度の予算は、前年度比15億6,000万円、率にして8.1%の増の208億4,000万円と2年ぶりに200億円を上回り、積極型の予算となった。
- ・ 第2次総合計画後期基本計画の総仕上げとなるため、引き続き、戦略プロジェクトに基づき、持続性のあるまちづくりを進めるため、戦略的な観点で優先的に取り組むとともに、各取組の実施に適した行政と民間の連携のもと、民間の稼ぐ知恵を活かし、市民総がかり・総活躍で展開する。
- ・ 具体的には、賑わいの創出や雇用の場の確保、移住・定住人口の拡大等に資する新たな拠点づくりに向けた高台開発事業（土地区画整理組合への補助金）に予算付けをした。
- ・ ウェイブプールやサーフィン競技を核とした沿岸部の活性化、新婚世帯や子

育て世帯に移住・定住を促す施策の継続など賑わいを創出する事業にも予算配分をした。

- ・ 公共施設マネジメント基本計画に基づき地頭方公民館（設計）の解体費を計上し、道路ストック補修支援事業や道路メンテナンス事業の道路橋りょうについても継続予算を確保した。また、安全・安心で子どもたちの学び・育つ場所として望ましい教育環境を整備する学校再編（小中一貫校）事業にも引き続き予算化をした。
- ・ カーボンニュートラルの実現に向けた取組では、環境基本計画の見直しをはじめ、家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助金の創設、荒廃農地対策も兼ねた早生樹導入支援及び脱炭素化に向けた実証実験の実施、ハイブリッド車等の低公害車の導入、Nearly ZEB 認証を目指した多目的体育館の建設、ぐりんぱる夜間照明器具のLED化などを実施する。
- ・ さらに、保育園民営化による教育・保育の質の向上、待機児童を出さない保育園・認定こども園、放課後児童クラブの運営、妊産婦通院支援、こども医療費助成、子育て応援特別給付金（R3へ前倒し）なども引き続き予算化し、新たに、妊娠期疾患治療費助成や子育て世帯が利用したくなる公園改修に向けた取組もはじめ、日本一女性にやさしいまちを目指した。
- ・ 喫緊かつ最優先の課題である新型コロナウイルス感染症対応では、ワクチン接種のほか、デジタルを利用したクーポン事業（又はポイント事業）や RIDE ON MAKINOHARA 誘客キャンペーンなどを実施しポストコロナ社会を見据える。

イ 特別会計

- ・ 国民健康保険特別会計は、医療費及び保険税の県推計に基づく予算である。
- ・ 後期高齢者医療特別会計は、保険料の賦課見込等に基づく予算である。
- ・ 介護保険特別会計は、保険給付費及び地域支援事業費の見込等に基づく予算である。
- ・ 土地取得特別会計は、防潮堤及び代替用地の先行取得により増額となる。
- ・ 農業集落排水事業特別会計は、平成5年度債の償還完了により減額となる。

ウ 公営企業会計

- ・ 水道事業会計は、安全で良質な水の安定供給を目指し、老朽化した水道管の更新を図る予算である。

(2) 歳入（一般会計）

- ・ 市税は、前年度を大幅に上回る7,207,784千円（前年度比7.5%増）の計上をした。新型コロナウイルス感染症の影響が縮小傾向にあることから市民税は156,300千円の増額となり、前年度比6.9%の伸びとした。固定資産税についても、評価替えの終了と新型コロナウイルス感染症による中小事業者等の事業用家屋及び償却資産の減免（コロナ減免）の減少などにより339,895千円（前年度比8.6%増）の増収を見込んだ。
- ・ 地方特例交付金は、コロナ減免の減少により227,000千円の減額、普通交付税は、市税等の増収はあるが法人税割の精算を加味し前年度比21.4%増の2,550,000千円とした。
- ・ 県支出金の212,453千円（前年度比14.3%増）の増額は、教育保育施設型給付費や地域産業立地事業などに加え、新規の農業基盤整備促進事業や適正化事業によるものである。

- ・ 繰入金は、防災拠点施設を兼ねた多目的体育館の整備に緊急地震・津波対策基金を充当することから 1,101,680 千円（前年度比 91.5%増）の大幅な伸びとなった。
- ・ 市債については、地域振興基金の積立ての完了や地方財政計画により普通交付税の振替である臨時財政対策債が大幅に減少する見込みであるため、694,100 千円（前年度比 37.0%減）の大幅な減額となり、2年連続で 20 億円を下回り 1,179,700 千円の計上になった。
- ・ また、歳入不足を補うために財政調整基金 1,000,000 千円、公債費の増加に対応するため、減債基金 100,000 千円の繰入金を計上した

(3) 歳出（一般会計）

令和 4 年度に実施する事業を総合計画における 6 つの政策により整理した主要な事業は、以下のとおりである。（予算参考資料の「令和 4 年度 主要事業等」参照）

◎印は、第 2 次総合計画における戦略プロジェクトを示し、新型コロナウイルス関連については●印となっている。

ア 健康福祉

| | |
|--|--------------|
| ◎静和会館大規模改修事業〈新規〉 静和会館は築 40 年を経過しており、老朽化によって外壁のひび割れが随所に見られ、かつ屋上防水シートの劣化により雨水が浸水し、建物内部の鉄骨の錆及び外壁の欠落となっているため、改修に向けた設計を実施する。 | 244 万円 |
| 子ども食料支援事業〈新規〉 子どもの貧困対策事業として、長期休業中で学校給食がないことにより食料に困窮する児童のいる家庭に対して食料を提供し、支援する。 | 67 万円 |
| こども医療費助成事業 高校生以下の子どもに係る医療費の自己負担分を全額助成することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成を図る。 | 1 億 8,408 万円 |
| ●子育て支援センター相良等移設改修事業〈新規〉 子育て支援センター相良と相良児童館機能を相良市街地へ移転整備し、施設の集約化と利便性の向上を図る。令和 4 年度は設計委託を実施する。 | 50 万円 |
| ●保育所等 ICT 推進事業〈新規〉 ICT を活用した保育の周辺業務及び計画業務に係る業務システムを導入する。 | 1,657 万円 |
| ◎公立保育園民営化事業 指定管理施設園の適正審査や公立保育園の受け皿となる社会福祉事業団の運営費等、保育園等の民営化及び民営化後の取組みを推進することにより、牧之原市全体の教育・保育の質の向上を図る。 | 4,278 万円 |
| 保育士宿舎借上支援事業〈新規〉 保育士用の宿舎を借り上げる費用の一部を補助することにより、保育士が働きやすい環境を整備することで保育の質の向上を図る。 | 189 万円 |

| | |
|--|-----------|
| 地域医療振興事業 牧之原市内に診療所等を開設する医師に対し、開設費用の一部を助成することで、医療サービスの充実を図る。 | 5,000万円 |
| 子宮頸がんワクチン接種事業 子宮頸がんワクチンの積極的勧奨の再開により、定期予防接種対象者4学年、及び積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した対象者9学年に対しても接種を実施する。 | 4,048万円 |
| ●新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための市民啓発を行い、市民に対するワクチン接種体制を整備し集団及び個別接種を実施する。 | 1億6,477万円 |
| ●感染拡大防止検査費用助成事業 高齢者施設等への新規入所者が自費により受検した新型コロナウイルス検査費用や、施設等の利用者及び職員に陽性者が確認された場合に受検した行政検査の自己負担額の一部等を助成する。また、市内の高齢者及び保育施設等のクラスターを防止するため、感染者周辺の検査を実施すると共に簡易抗原検査キットを購入し活用する。 | 381万円 |
| 妊産婦通院等支援事業 榛原総合病院の産科休診に伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成する。 | 660万円 |
| 妊娠期疾患治療費助成事業〈新規〉 妊娠中に起こりやすい疾患の治療費を助成し、妊娠中に医療費など金銭的なことを考えず、出産準備に専念できる環境を整備する。 | 158万円 |

イ 教育文化

| | |
|--|---------|
| 就学システム導入事業〈新規〉 システム導入により、学齢簿の適正管理、各種統計処理、就学援助事務等の調査業務等の効率化を図り、各課業務の負担軽減を図る。 | 269万円 |
| ●修学旅行旅程変更等補助事業 静岡空港を利用し飛行機による修学旅行等を実施した児童生徒、引率教職員等への旅行費補助を実施する。 | 2,169万円 |
| ◎学校再編計画推進事業 令和4年度から2年間かけて「学校施設整備基本構想・基本計画」を策定する。 | 1,081万円 |
| 英語力向上サポート事業 外国人英語指導助手を配置し、語学力の向上により、国際理解教育の推進を図る。併せてイングリッシュキャンプを実施し、英語に親しみながら外国人とのコミュニケーションの向上を図る。 | 2,026万円 |
| ICT活用推進事業 一人一台端末を活用し、個別最適化された授業を展開するとともに、社会情勢の変化に対応したICT教育を推進するため、児童生徒並びに教職員に対する支援の充実を図る。 | 4,166万円 |

| | |
|--|------------|
| <p>●小学校特別教室空調機器設置事業〈新規〉 新型コロナウイルス感染症対策として小学校音楽教室6校9教室に空調機器を設置する。(設置校：相小2基、菅小1基、萩小1基、川小2基、細小2基、勝小1基)</p> | 2,700万円 |
| <p>将棋タイトル戦誘致推進事業〈新規〉 第63期お〜いお茶杯王位戦を誘致し、一流棋士が戦うタイトル戦を開催することで、伝統文化である将棋の振興と地域の活性化を推進する。</p> | 100万円 |
| <p>田沼意次侯大河ドラマ誘致推進事業〈新規〉 郷土を代表する偉人「田沼意次侯」を題材とした大河ドラマの誘致に取り組むことで、市民の誇りを醸成するとともに、地域の活性化やシティプロモーションを推進する。</p> | 20万円 |
| <p>◎榛原図書館改修事業〈新規〉 榛原文化センターの一部を改修し、図書館基本計画に基づく榛原図書館の機能拡充を図る。</p> | 220万円 |
| <p>ぐりんぱる夜間照明器具LED化事業〈新規〉 社会体育施設修繕計画に基づき、榛原総合運動公園ぐりんぱるの夜間照明器具の一部をLEDに更新する。(7年間の賃貸借契約、令和4年度は8か月分)</p> | 675万円 |
| <p>◎多目的体育館整備事業 牧之原市スポーツ推進計画に基づき、スポーツに限らず多目的に利用できる機能とともに、原子力災害時には放射線防護機能を有する施設としての体育館を整備する。また、エネルギー消費量75%以上を削減するNearly ZEBの認証取得に取り組む。</p> | 11億6,765万円 |

ウ 産業経済

| | |
|--|-----------|
| <p>◎おかえりプロジェクト推進事業〈新規〉 地域の企業と地元就職希望者とのマッチングに取り組み、雇用機会の充実を図るため、新卒者以外の就職希望者も含め、企業情報の発信や企業説明会を開催する。</p> | 22万円 |
| <p>●荒廃農地活用事業〈新規〉 荒廃農地対策として早生樹導入を調査・研究する協議会を支援する。</p> | 100万円 |
| <p>オーガニックまきのはら推進事業〈新規〉 脱炭素社会の実現のため、耕作放棄茶園においてCO2削減を目的とする農業資材の開発に向け、官民連携による実証実験を行う。</p> | 500万円 |
| <p>●茶業緊急支援事業 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、生産と販売に影響を受けている茶生産者等の経営力強化を支援する。</p> | 1,225万円 |
| <p>●牧之原市茶海外輸出等支援事業〈新規〉 静岡牧之原茶の海外輸出や高付加価値化を目指す茶業関係者への取り組みを支援する。</p> | 50万円 |
| <p>農業基盤整備事業 農作業の効率化や安定した農業生産及び経営を図るため、施設の改修、更新を行う。(茶園区画整理(静波地区・朝生原地区)、榛南2期地区農道、勝間田川ファブリダム)</p> | 1億3,231万円 |

| | |
|---|-----------|
| 細江地区浸水対策事業 細江地区の浸水被害の軽減を図るため、老朽化している榛原第1排水機の除塵機を更新し、施設の延命化を進める。 | 4,705万円 |
| 赤坂池周辺整備事業〈新規〉 静岡県が整備した榛原ふるさとの森や赤坂池ビオトープと連携し、富士山静岡空港周辺の賑わい創出を図るため、赤坂池周辺整備の一環としてため池の管理道を整備する。 | 1,000万円 |
| ◎がんばる中小企業応援事業 中小企業者、小規模企業者からの経営改善、事業承継、創業支援などの様々な相談を一括して受け付ける総合窓口を設置し、課題の解決に向けて支援する。 | 173万円 |
| ◎創業支援事業 新たな事業の創出を促進し市内産業の振興を図るため、市内で起業する者に対して必要な経費を支援する。 | 350万円 |
| ◎スタートアップ支援事業〈新規〉 市内の空き店舗活用や商工業の活性化を図るため、商工業や農水産業、観光などの地域資源を活用して新たに事業を展開するスタートアップを支援する仕組みを構築する。 | 200万円 |
| ●緊急経済対策事業 デジタルを利用したクーポン事業（又はポイント事業）を実施し、デジタル化の推進と地域経済の活性化を図る。 | 2,300万円 |
| ふるさと納税推進事業 財源確保と市内産業の活性化を目的に、ふるさと納税をした者に市内の特産品を贈る。 | 2億1,691万円 |
| ◎企業立地促進事業 新規立地する企業に対して、土地取得及び雇用に係る初期投資に対して補助金を交付する。 | 7,260万円 |
| ◎萩間地区工業用地造成事業 県、市、企業の3者により、事業の実現に必要な基本協定を締結し、早期の工事着手を目指す。また、開発区域外で予め整備が必要な公共施設について改修等を実施する。 | 2,350万円 |
| ◎国際ジュニアサーフィン大会支援事業〈新規〉 サーフィンのメッカとして沿岸部にて開催される大会等の開催支援を行う。 | 100万円 |
| ◎まきのはら活性化センター事業 観光業をはじめ、異業種との連携による地域資源の観光商品化やイベントの開催等による誘客を図るとともに、地域産業の活性化のための支援を行う。 | 3,455万円 |
| 海水浴場開設及び海岸整備事業 県内最大規模を誇る静波海水浴場と遠浅で白砂が美しいさがらサンビーチの年間の管理・運営を行い、海水浴客の誘客・マリンレジャーの振興や活用により牧之原市を広くPRし、観光業への経済波及効果の拡大、また情報・人的な交流を図る。 | 5,356万円 |
| ◎温泉会館大規模改修事業 さがら生まれ温泉会館は、泉質の評判もよく老若男女と幅広い方々のふれあいの場となっているため、計画的に施設改修を行う。 | 1,216万円 |

| | |
|--|---------|
| <p>●観光誘客推進事業 RIDE ON MAKINOHARA 誘客キャンペーンの第4弾を実施する。市内宿泊者へ商品券を配布し、宿泊及び市内での飲食や体験、土産等に使用してもらうことにより牧之原市内の経済活性化を図る。</p> | 1,689万円 |
| <p>◎新拠点開発推進事業 東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側地区の開発を推進するため、牧之原市IC北側土地区画整理準備組合及び土地区画整理組合の支援等を実施する。</p> | 2億141万円 |

エ 生活基盤

| | |
|---|-----------|
| <p>公共交通推進事業 市民の生活交通を確保するため、JR駅を結ぶ路線バスや自主運行バスや市内の移動のためのデマンド乗合タクシー、バスを運行する。</p> | 1億9,029万円 |
| <p>◎移住・定住促進補助事業 移住・定住を促進するため、市への居住の節目に条件を満たした場合に補助金等を交付する。(子育て家族定住奨励金、空き家リフォーム等補助金、結婚新生活支援助成金、しあわせ新婚さん家賃助成金、移住就業支援補助金)</p> | 6,208万円 |
| <p>環境基本計画策定事業 地球温暖化防止、循環型社会、自然共生社会や地域循環共生圏の構築に向けて市が実施する環境施策を体系化し、環境の保全及び創造に関する施策の基本事項を定めた計画の見直しを行う。</p> | 466万円 |
| <p>●創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助事業〈新規〉 ゼロカーボンシティ推進の取組を各家庭に広げるため、家庭用の創エネ・省エネ・蓄エネの機器等を設置した場合に補助金を交付する。</p> | 500万円 |
| <p>◎火葬場検討事業 牧御、吉牧の両組合が運営している火葬場施設の老朽化に伴う新施設整備の検討に必要な計画策定や調査を実施する。</p> | 1,421万円 |
| <p>◎道路ストック補修支援事業 道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の舗装や法面などの傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。</p> | 1億3,343万円 |
| <p>◎道路メンテナンス事業 道路の点検結果を踏まえ策定する長寿命化計画に基づき行う事業で、劣化、損傷が著しく進行している橋梁、トンネルの構造物を計画的かつ予防的に補修を行い、道路交通の安全性を確保する。</p> | 8,834万円 |
| <p>空港隣接事業 生活交通利便性向上のための道路改修、浸水被害解消のための河川改修を行う。(市道八ツ枝毛ヶ谷線、市道坂部細江線、準用河川辻川)</p> | 2億5,614万円 |

| | |
|--|-----------|
| 坂部道の駅整備事業〈新規〉 J A坂部支店跡地に設置する「道の駅」敷地内に建設する、地元産農産物等の販売を行い、誘客と賑わいを創出する商業・観光施設の建設を行う。 | 665万円 |
| ◎相良牧之原 I C北側地域整備事業 相良牧之原 I C北側土地地区画整理事業に伴う施行地区隣接部の市道及び排水路整備を実施する。 | 2億2,915万円 |
| 社会資本整備総合交付金事業〈新規〉 地域住民の生活交通利便性向上のための道路改良を行う。 (市道大江東中線、市道静波中央幹線) | 1億1,100万円 |
| 細江地区浸水対策事業 準用河川沢垂川の整備計画及び河川改修を含めた総合的な治水対策を実施する。 | 4,900万円 |
| ◎公園整備事業〈新規〉 公園・緑地メンテナンス計画に基づき、牧之原市公園遊具整備調査・計画業務委託、油田の里公園資料館屋根まわり改修実施設計業務委託、ふるさと体験の森多目的広場の給水工事等公園整備を行う。 | 950万円 |
| ◎公営住宅等ストック総合改善事業 市営住宅ストックの長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図るため、計画的な施設の更新及び予防保全的管理を実施する。(湊団地) | 1,541万円 |

オ 防災

| | |
|--|-----------|
| 農村地域防災減災事業 市内83のため池のうち防災重点ため池の指定を受けた65池について、県と協力しながら大規模地震に備えた耐震化整備を進める。 | 6,040万円 |
| 津波高潮防災ステーション更新事業 津波防災ステーションが設置から15年以上経過し、機器類に異常が発生しているため、高機能な機器類に更新する。 | 7,918万円 |
| 地頭方漁港海岸防潮堤整備事業 レベル1津波から生命・財産等を守るため、地頭方漁港海岸の護岸・胸壁・陸閘の海岸保全施設の整備を実施する。 | 4,380万円 |
| プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業 市民の生命財産を守るため、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震化を促進するとともに、避難経路の寸断を防ぐため、倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去及び改善事業を推進する。 | 1,776万円 |
| 静岡地域消防救急広域化事業 広域構成市町のスケールメリットを生かした災害対応力の充実強化やより一層の住民サービスの向上を図る。 | 6億9,525万円 |
| ◎勝間田消防館建設事業 消防団組織等再編計画及び公共施設マネジメントに基づき勝間田消防館(5分団)の整備を進める。 | 4,213万円 |
| 防災コミュニティセンター整備補助事業〈新規〉 自主防災会が設置する防災コミュニティセンターの整備に補助を行う。(鬼女新田) | 2,000万円 |

カ 市政経営

| | |
|--|---------|
| <p>●行政サービスICT化推進事業 人口減少や社会情勢の変化に対応し、将来にわたって市が持続的に行政サービスを提供するため、AIやRPA等のデジタルツールを活用し、業務改革やDXの推進を図る。</p> | 1,161万円 |
| <p>●デジタルデバйд対策事業〈新規〉 情報格差対策として、市民（個人、団体、自治会等）を対象にスマホ講習会を実施する。また、初めてスマホを購入したシニア世代に対し、購入に要した費用を補助する。</p> | 553万円 |
| <p>◎若者に魅力あるサービス等創出支援事業 若者の市外流出に歯止めをかけるため、若者が求める住環境、ライフスタイルを提供するための新産業、新サービスの創出に官民連携で取り組むことで、第2次総合計画後期基本計画「戦略プロジェクト」の強力な推進を図る。</p> | 650万円 |
| <p>◎ホストタウン推進事業 全国初のホストタウン登録を受けたサーフィン競技を核とした交流事業を推進することにより、地域の人的・経済的・文化交流を図ることで、オリンピックをきっかけとした沿岸部の賑わいを創出する。</p> | 141万円 |
| <p>アウトソーシング（窓口業務・税証明等）事業 市民課における住民票の写し・印鑑登録証明・税証明等の窓口交付・原付等の標識交付、軽自動車税及び償却資産課税情報の入力事務をアウトソーシングし、ワンストップサービスの拡充を図る。</p> | 4,400万円 |
| <p>◎地頭方公民館解体事業〈新規〉 築40年が経過し、老朽化が進み、年々修繕箇所が増加している状況にあり、令和5年度中の解体工事を実施するため、解体工事に伴う実施設計を行う。</p> | 177万円 |